

災会議を設置しています。国の出先や地元の公共的な機関を併せて47の機関が入っています。その中には、海上自衛隊、陸上自衛隊、県、県警、経団連、商工会議所、消防、JR、ドコモ、水資源、高速道路など実に多くの関連機関が入って一つの計画を作っています。

戦略として作った方針は、皆が一緒になって非常に実効性の高い取り組みとするため、初めに色んな検討、役割分担をしておきます。それを事前に構築していこうと言う事で作っています。

「四国地震防災基本戦略～来たるべき巨大地震に備えて～」の特徴

四国地震防災基本戦略は、巨大な地震による広域の大災害に対し、四国地域の実情に即した予防対策や応急・復旧対策等について**重点的・戦略的に取り組むべき事項**を示すものである。

基本方針

人の命を最優先に考え、従来から取り組んできた施設整備等を着実に進めるとともに、その規模を超える外力が発生した場合でも住民生活や地域経済への影響を最小限に食い止めるために、**減災の考え方を重視し、ハード施策とソフト施策を総合的に取り組むこと**を基本とする。

◎四国の産官学が一体となって策定

国の機関や地方公共団体のみならず、学識経験者や地元経済界など**47機関が認識を共有**し、四国が一体となって取り組むべき事項を示した。

◎役割分担の明確化

**実効性の高い取組**とするため、共通の基本方針のもと地域の民間企業や住民等との連携も含め、各機関の**適切な役割分担**により対策を実施する。

◎巨大地震に備えた仕組みや体制などの早期構築

四国において想定される課題に対応するための仕組みや体制などを**事前に構築**する。

四国地震防災基本戦略 ～来たるべき巨大地震に備えて～

四国地震防災基本戦略とは・

【東日本大震災の教訓】

- II 東日本大震災から学ぶもの
1. 災害の初動 - 軽減効果を発揮した社会資本
    - (1) 国による災害対策本部の設置による迅速な対応
    - (2) 国・自治体・事業者による「守りまわし」体制の構築
    - (3) 専門的な事・施設整備により、迅速な対応と被害の軽減
    - (4) 自治体間の連携体制の構築
    - (5) 専門的な事・施設整備により迅速な対応
  2. 命を守った迅速な避難行動
    - (1) 避難の準備による避難行動の迅速化
    - (2) 避難口確保の重要性
    - (3) 避難口確保の重要性
  3. 迅速かつ確かな応急対策及び復旧活動
    - (1) 迅速かつ確かな応急対策により、二次被害の防止、健康、社会生活の確保
    - (2) 被災地域の復旧活動の迅速な実施
    - (3) 交通・情報の確保による被災地の迅速な復旧
    - (4) 避難口確保の重要性、被災地域の迅速な復旧
    - (5) 被災地域の迅速な復旧活動
    - (6) 被災地域の迅速な復旧活動
    - (7) 被災地域の迅速な復旧活動
    - (8) 被災地域の迅速な復旧活動
    - (9) 被災地域の迅速な復旧活動
  4. 早期復興に向けた取組
    - (1) 被災地域の迅速な復旧活動
    - (2) 被災地域の迅速な復旧活動
    - (3) 被災地域の迅速な復旧活動

四国における重点的・戦略的取組



「四国地震防災基本戦略」（構成）

- III 基本戦略の取り組み
1. 被害軽減の見直し
    1. 1 被害軽減の見直し
    1. 2 ハザードマップ等の作成・更新
  2. 被害の最小化
    2. 1 発生機序の調査・検討、対策に対する迅速な対応
      - (1) 発生機序
      - (2) 発生機序
    2. 2 最大クラスの巨大地震・津波に対する迅速な対応
      - (1) 発生機序の調査・検討
      - (2) 発生機序の調査・検討
      - (3) 発生機序の調査・検討
      - (4) 発生機序の調査・検討
    2. 3 迅速かつ確かな避難行動
      - (1) 発生機序の調査・検討
      - (2) 発生機序の調査・検討
      - (3) 発生機序の調査・検討
      - (4) 発生機序の調査・検討
  3. 迅速な応急対策、早期復旧の実効体制の構築
    3. 1 応急対策体制の確立
    3. 2 応急対策、被災地域の復旧等を中心としたオペレーション体制の確立
    3. 3 防災・防犯、防災関係の迅速な対応、被災地域の復旧
    3. 4 被災地域の迅速な復旧活動
    3. 5 多量の被災物資の発生を想定した応急体制の確立
    3. 6 巨大地震発生した際の応急体制
    3. 7 被災者の迅速な対応
  4. 地域全体の復興を円滑に進めるために
    4. 1 被災者の生活再建
    4. 2 復興に向けた地域づくり
    4. 3 被災地域の再生支援

平成23年12月2日に策定

1つの事例ですけど、太平洋岸が大きな被災を受けた場合、瀬戸内側が生き残ることを想定し、その方面から道路を通行できるようにして、土佐湾の方へ道を空けていって全部を助けるようなオペレーションがいろいろという事で検討をしています。

**「命の道」となる緊急輸送路の確保とともに、迅速な応急対策のための啓開・復旧オペレーション計画を事前に策定**

**◎緊急輸送路（信頼性の高い交通ネットワーク）の確保**

- “四国8の字ネットワーク”の整備促進  
ミッシングリンク(高速道路未整備区間)の早期解消
- 高知自動車道の信頼性の向上
- 瀬戸内側から太平洋側へのアクセスの信頼性の向上  
(R32、33、194、195、197、381、  
これらを補完するR193、439、440、441等)
- 港河及び空港の信頼性の向上



**◎啓開・復旧オペレーション計画の策定**

- ヘリコプター等による津波・土砂災害発生時の被災状況の把握  
伝達体制の整備や伝達共有体制の確立
- 道路啓開・復旧オペレーションイメージ  
STEP1  
比較的被害が少ない瀬戸内側の縦断ラインを確保  
STEP2  
横断ラインから太平洋沿岸地域へ乗り込むための縦断ラインの確保  
STEP3  
縦断ラインから太平洋沿岸地域のR55～R56の沿岸ラインを確保
- 瀬・空からの緊急輸送ルートを早期に確保するため、施設の応急復旧体制を事前に確立

津波による分断予想箇所  
一津波による分断予想箇所は、ミッシングリンクに集中



道路啓開・復旧オペレーションイメージ  
～瀬戸内側から太平洋側へ～

**確実な避難を達成するための総合対策を早期に実施**

◎「減災」の考え方をもとに、各機関等が共通認識、適切な役割分担により確実な避難を達成するための総合対策（ハード整備・ソフト対策）を早期に実施する。

**総合対策**

**ハード整備**

**避難行動につながる情報提供施設**

- 海抜知一着 - GPS波時計

**避難路・避難施設**

- 避難路の整備 - 津波避難タワーの整備  
- 津波避難ビル指定の促進

**防災情報伝送施設等の整備**

- 防災行政無線等の整備 - ソーシャルメディア等の利用システムの活用 - 無線LANシステムや衛星インターネット等の整備

**ソフト対策**

防災意識改革と防災教育・訓練の実施

ハザードマップの充実

津波観測施設の充実と津波警報等のリアルタイム情報の提供

また、ハードとしてGPS 波浪計の設置とか、避難路の整備、津波避難タワーの新設

など、このようなハード整備と同時に防災教育を実施して早く逃げることを学ぶこと、ハザードマップの充実、それから防災情報を提供する施設の整備なども求められます。また街づくりはどうしていかっていうと、防災拠点とか色んなものを踏まえて堤防を一重、二重にしてとか色んなやり方がございますけれども、これらをイメージしたものを12月に発表しました。この戦略は203の実施項目を分割し、10のプロジェクトチームで具体的に進めていくようにしています。例えば四国地方整備局、四国厚生支局、四国財務局、四国経産局、等が役割分担してリーダーとなって色んな検討を行い、実際の戦略に基づく自主計画を作っていきます。現在は、戦略のもと具体的な自主計画を作る段階です。



次に、地域の活力の向上についてです。

まず四国の8の字ネットワークですが、今ここまで出来ています、宇和島道路が3月11日にできます。それから窪川方面ですが来年までに窪川まで出来ます。それからこの赤いところが、着手し始めたところです。810キロの内515キロほどが出来ています。とにかく早く8の字ネットワークを完成させることが一番重要です。防災という面と物流と言う面と、両方の面から早めに完成しなければ行けません。

地域間を結ぶネットワークの整備も重要です。これは地芳峠を貫くトンネルですが、これは2年前の平成22年11月に開通した梶原町と久万高原町を結ぶトンネルです。これが開通したことによって、人の行き来や車の行き来がものすごく増えています。また観光客が増えて、宿泊客が2割増しになっています。

## 高規格幹線道路ネットワークの整備



## 広がる高規格幹線道路ネットワーク

宇和島北IC～三間IC～西予宇和IC間は、平成15年12月の国土開発幹線自動車道建設会議において決定された新直轄方式により整備された区間であり、松山自動車道と宇和島道路(一般国道33号自動車専用道路)とに接続することにより、縦横開闢地域の発展に一層重要な役割を果たすものと期待されています。(平成24年3月10日開通予定)



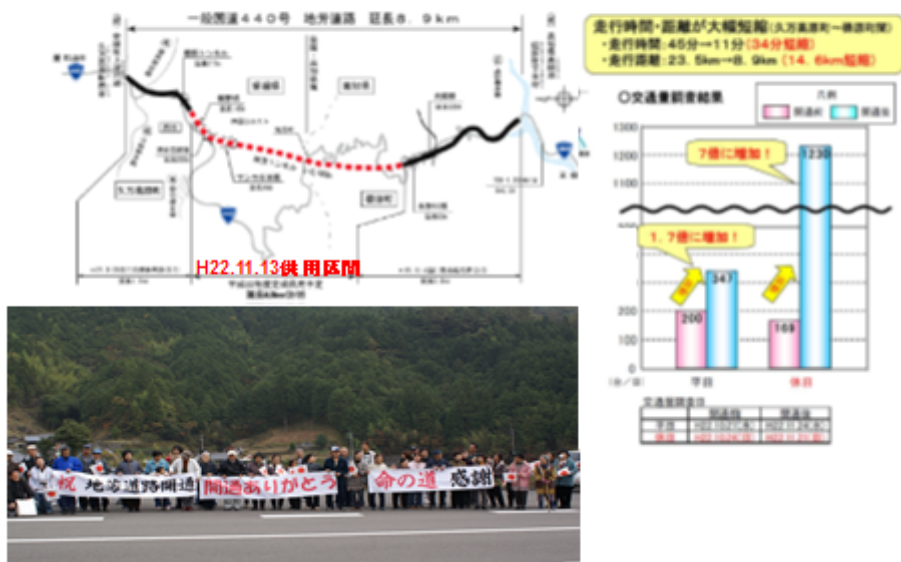
一方国道33号線の三坂道路が3月17日に開通します。この開通により、雪が降っても交通がスムーズになりますし、急カーブの走行を解消の整備も重要です。これは後から愛媛県土木部長も説明されますが生名橋です。生名橋は550メートルぐらいの橋梁ですけれども、弓削島のところをはしっている橋が開通する事によって、地域の活性化が

図られています。

## 地域間交流道路ネットワークの整備（国道440号 地芳道路）

### 【一般国道440号地芳道路の供用】

地芳道路は、県境を越えた地域間交流及び地域運搬の支援、県境を越えた医療、消防体制の確立等に重要な役割を担います。



## 地域間交流道路ネットワークの整備（国道33号 三坂道路）



新居浜バイパスにつきましても2月の末に一部区間ですけど新たに開通します。四国で開通する3つの道路の内、実に3つとも全部愛媛です。

それから国際ターミナルの整備です。国際ターミナルの整備によりコンテナの取扱高

が高いレベルで増えています。

## 地域間交流道路ネットワークの整備（主要一般道岩城弓削線）生名橋工区

生名橋開通式（一）岩城弓削線 上島架橋・生名橋工区が平成23年2月6日（日）13時より、安城橋上島町において盛大に挙行され、一般供用開始が15時30分より行われました。

生名橋の開通により、上島町の地域間相互の交流が促進され、通勤通学の利便性の向上、医療福祉サービスの充実等に大きな役割を果たされるものと思われます。

### 事業概要

- ・延長L=1.9km、幅員W=4.0(7.5)m
- ・生名橋 橋長515m  
(3径間連続鋼・コンクリート混合斜張橋)
- ・事業期間 平成16～22年度  
(取り付け道路はH15年度から)
- ・事業費 約77億円



生名橋は、安城橋が実施している1.5車線の道路整備手法を導入したモデル的な事業であり、交通量に合わせた1車線歩道付きの橋梁として、建設コストを軽減している。

**（開通前）48分**：フェリー2便を乗継ぎ

**（開通後）8分**：生名橋を通過して陸路のみで

フェリーに乗り継ぎ住民



## 道路交通環境の改善（国道11号 新居浜バイパス）

新居浜バイパスは、国道11号の交通渋滞を緩和や自転車・歩行者の安全確保を図るとともに、松山自動車道新居浜インターと市街地をアクセスさせることで、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路として地域経済に大きく寄与することを目的として整備しています。  
(平成24年2月25日開通予定)



歩道(3.0m)の整備による  
安全性の向上



現道の混雑の緩和



船を入りたいとのことです。それと同時に、耐震化をはかっています。

### 空港機能の強化（徳島飛行場「徳島阿波おどり空港」）



#### 【徳島飛行場拡張整備事業（滑走路の2,500m化）(H22.4.8供用)】

空港機能強化によって  
国際定期チャーター便  
就航が実現

徳島空港に第1便150人  
初の海外定期路線

チャーター便就航

完成式典テープカット

一方、徳島飛行場が22年4月8日に2500m滑走路に延長して、国際定期チャーター便が就航しています。愛媛県松山市の国道33号線ですが、国体開催までに松山外環状道路インター線を開通させて、それ以降、松山空港まで伸ばそうということで、外環状道路の開通に向けて、今、一生懸命に動いている最中です。

### 物流拠点との結節機能強化による物流効率化



松山港 FAZ:輸入促進地帯 (Foreign Access Zone)

松山空港

松山外環状道路インター線

松山外

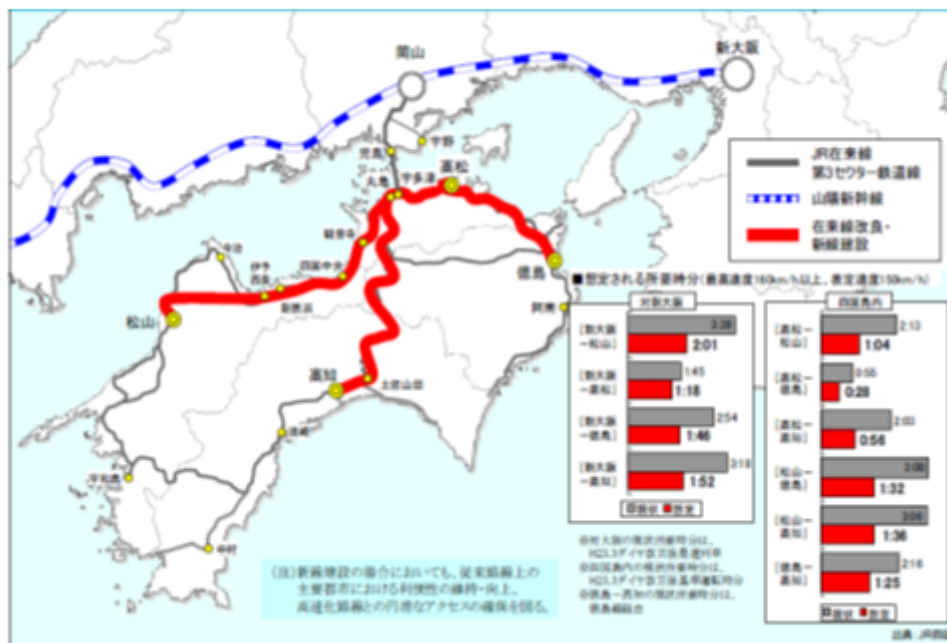
工事が進む松山外環状道路インター線



港湾や高規格道路等、物流基盤整備による産業活性



公共交通機関（JR四国）の高速化構想



それから、市街地再開発への支援というものもあります。

これは高松市丸亀町の市街地再開発事業の例です。これは松山市の坂の上の雲の街づくり支援ということで、道後温泉含めて広域の中で街づくりを行っています。

また、これはJR松山駅周辺の連続立体交差事業に伴う再開発事業です。ここに示す

ようなイメージのものです。県の顔としての拠点整備を行うということで、今、事業が動いています。これはロープウェイ通りの整備事業です。これを整備することによって、ロープウェイ乗り場前の歩行者数が劇的に増えています。これは大洲市の事業ですが、街づくり交付金で、大洲城の復元を中心とした街づくりを今からやろうと思ってるところです。それから、これは内子の拠点地域。こういった拠点を活用した街並みづくりです。それから、これは内子のフレッシュパークづくりです。

**市街地再開発への支援（高松市丸亀町）**



国土交通省の「第一種市街地再開発事業制度」を用いて、商店街の再開発を実施。



高松市丸亀町参番街ドーム広場



【A地区に完成したドーム】



【B地区完成予想図】

**市街地再開発による中心市街地の活性化**



**松山市における「坂の上の雲」のまちづくりへの支援**

計画期間（H20.11～H25.3）

『坂の上の雲』のまちづくりの概念  
 『夢や希望を持ち、目標に向かって進む』という、『坂の上の雲』の精神を踏かし、小説に登場する松山市出身の人物にまつわる「ゆかりの地」や史跡などの資源を継り継ぎ地域の誇りとなる市街地再開発のまちづくりを行う。

整備する＜フィールドビュータム構想＞  
 センターゾーンと4つのサブセンターゾーンの整備  
 市内に点在するサテライトを軸に全市を対象  
 各ゾーンやサテライトを結ぶネットワークの強化

まちづくり交付金の流入事業  
 （センターゾーンと重要サブセンターゾーンの整備）

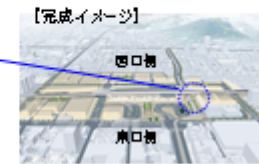
- ①回遊路の景観整備
- ②交差点の整備
- ③歴史・文化情報の発信施設整備
- ④休憩施設の整備
- ⑤定歩山跡跡（城山公園）の整備
- ⑥ソフト施設
- ⑦観光誘致システムの構築
- ⑧安全対策
- ⑨まちづくりマップの作成
- ⑩防災イベント
- ⑪関係者交流
- ⑫案内情報システム
- ⑬外国人対応の観光案内サイン

**松山市中心市街地活性化基本計画の事業概要**

- にぎわいのある商業のまち
  - 中心市街地再開発における新たな魅力ある商業施設整備
  - 中心市街地再開発における新たな魅力ある商業施設整備
  - イベント等による商業施設の連携・利便性向上
  - 中心市街地再開発の連携・利便性向上
  - 中心市街地再開発の連携・利便性向上
- 観光交流のまち
  - 観光交流の拠点の整備
  - 観光交流の拠点の整備
  - 観光交流の拠点の整備
- 中心市街地内での遊憩性の向上
  - 中心市街地内での遊憩性の向上
  - 中心市街地内での遊憩性の向上
- 中心市街地周辺の利便性向上
  - 中心市街地周辺の利便性向上
  - 中心市街地周辺の利便性向上

【坂の上の雲のまちづくり交付金事業を実施】

JR予讃線松山駅付近の複数の踏切を一挙に除却し、踏切渋滞、事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道により分断された市街地の一体化を図るとともに、一体的に都市基盤施設の整備を図る区画整理事業を行うことで、交通結節機能の強化、東西交通の利便性の向上及び魅力ある都市居住環境の創出や、「京都の顔」としての拠点整備を図ることで、中心市街地の活性化を図る。

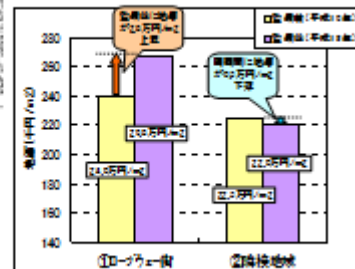
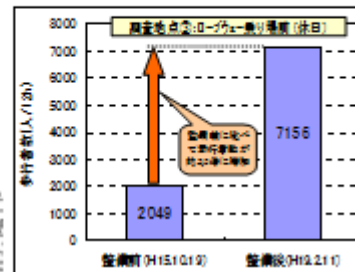


「坂の上の雲のまちづくり」による活性化効果

【ロープウェイ通り整備事業】

同地域では、市が進める「坂の上の雲のまちづくり」の一環として、電線類の地中化や通りに面した店舗のファサード整備、老朽化したロープウェイ駅舎の改築等により、美しいまち並みと賑わい空間を創出。

歩行者数の大幅な増加や、地価の上昇などの効果が発現している。



## 地域独自の歴史・文化を生かした街づくり



愛媛県大洲市において、「まちづくり交付金」制度を用いて、復元大洲城を中心とした個性豊かな地域づくり・街づくりを実施。



## 地域独自の歴史・文化を生かした街づくり



愛媛県内子町 【内子町周辺整備事業】  
国土交通省の「都市再生整備計画事業」により  
既存建物の修繕・交流拠点を整備

「うちこタウンツーリズム」の展開  
町並み保存地区において既存建物の修繕や  
未利用地を活用した交流拠点を整備する等、  
計画的な景観や快適で安全な歩行空間の形成  
を通じ、回遊や散策の為のネットワーク及び  
魅力的な景観づくりを進めている。



成徳町並

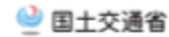


六日市町並



成徳町並と景観整備

## 地域の魅力を活かした地域活性化への支援



### 道の駅「内子フレッシュパークからり」の整備・平成8年5月1日オープン

- 観光客が10年で8倍に
- 女性の集客率が拡大
- 地元農産物の売上も8倍に



ふれあい広場



レストランからり パン工房

**●観光客が10年で8倍に**

新鮮・安心・中心の食材を求める観光客

10年で約8倍

**●女性の集客率が拡大**

女性らしい決め柄やかな財布と家裁的な商品を提供  
 〇小規模、高齢、養老などの中国地農産物のパンティを多様性といふ魅力へ変換

利用客の7割が女性

**●地元農産物の売上も8倍に**

安全安心な農産物提供システムの構築・町内での産直関係の構築

生産者 → 消費者

〇消費者は、農産物の履歴が確認でき安心して購入できる  
 〇農産物は地域内循環  
 〇レストラン、工房、加工場、病院、給食センターにも供給

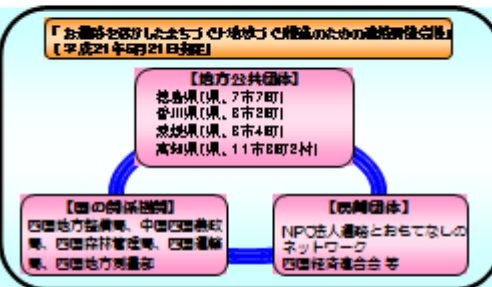
「からり」年間売上高の推移

売上高が10年で約8倍

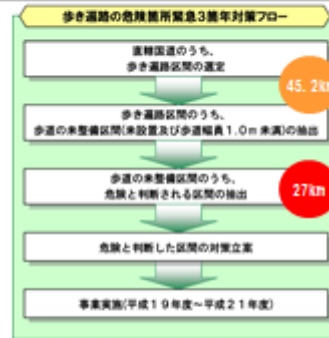
## お遍路を活かした地域づくりの取り組み



### お遍路を活かしたまちづくり・地域づくりに係る連携



### 「歩き遍路の危険箇所緊急3カ年対策プログラム」の実施



### 世界文化遺産登録に向けた活動

- 2007.6 四国4県を構成員とする「四国遍路世界遺産登録推進四県協議会」が発足。
- 2008.3 4県および遍路道を通る5日市町村を構成員とする、「四国遍路世界遺産登録推進自治体協議会」が発足。
- 2010.3 「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界文化遺産登録推進協議会が発足。



それから、お遍路を利用した街づくりですが、世界文化遺産への登録を目指して、四国の商工会議所、経団連を中心として今一生懸命動いている最中です。



整備前



整備後

歩道の整備(国道56号 黒潮町)



情報板の整備(国道56号 須崎市)



通路小屋(国道56号沿い 黒潮町)

重信川自然再生事業

**松原泉の再生**

**失われた松原泉とビオトープの再生**  
高水敷に風・小川・たまり等の多様な環境を再生

**河口部の玉砂、河野林の再生**

**良好な干潟環境の保全**  
ヨシ原・ワンド・河野林の再生を図ることにより良好な干潟環境を保全する。

**湿地的環境の再生**  
登壇内の土砂等の堆積していた荒廃地を掘削して湿地に再生

**広瀬原の再生**

例えば、こんな危ないところに少し歩道をつけたり、こういった休む場所の整備や情報板の設置などをしています。また、重信川のビオトープの再生とかこういったもの、いわゆる自然系のものの再生事業もしています。それから、これ西条市で水と芸術文化の街づくりということで、つい最近、手づくり故郷賞をいただきました。

それから、ツーリズム創造機構です。これは四国4県が行っています。

「水」と「芸術文化」でまちづくりと人づくり (愛媛県・西条市)



新四国のみちでうちぬきを体験



公闘石彫刻の完成とうちぬきイベント

愛媛県西条市の「うちぬき21プロジェクト」(平成12年6月設立 会員数119名)は、市民が誇れる「水と芸術文化のまちづくり」をテーマに、「西条のうちぬき保全と環境美化」、「芸術文化の創造と環境づくり」、「市民が誇れる水景づくり」を基本方針に活動しています。

様々なイベント活動を実施しており、住民が一体となって、地域資源を活かした魅力向上に努めています。このようなもと、平成23年度の「手づくり郷土賞」(一般部門)を受賞しました。

※うちぬきとは、地下水の自噴井のこと

四国の観光の活性化

四国ツーリズム創造機構の取り組み

四国圏の広域的な観光推進のための総合的な取り組みを促す目的で、「四国ツーリズム創造機構」が、平成21年7月に発足。

広報宣伝活動や、誘客活動、観光地づくり、国際観光の視点等で様々な活動に取り組んでいる。



四国道路講習会(東京)にて、道路ツアー商品をPR



「災害に強いまちづくりガイドライン」の策定

地方公共団体が取り組むべき防災及び減災に関する施策を横断的・面的にとりまとめ、担当職員向けにガイドラインを策定し、公表を予定

東南海、南海地震は今後30年以内に60～70%程度の確率で発生が予想され、四国地方では安全・安心なまちづくりに向けた対応が喫緊の課題

- 津波災害と土砂災害のモデル地区として検討を行う5つの市町村を抽出
- 有識者(4大学)、官民(5市町)、差届局からなる検討会を設置【H23.1.11～】
- モデル地区の課題や取組を整理し、今後必要となる施策等について意見交換
- 防災事業の活用による防災力の向上を主眼に、検討会での意見やモデル地区での先進的な取組を「ガイドライン(案)」に整理

モデル地区の概要

自治体名称	市町村名	地区名
平野郡	高知県 吾南町	吉川地区
青森に山が迫る平野郡	徳島県 美波町	日和佐地区
	高知県 中土佐町	久礼地区
中央・西上郡	愛媛県 愛南町	吉良平島
中山間地域	高知県 大東町	金城

東日本大震災が発生【2011】

東日本大震災から得た知見から、施策に関する着眼点や留意点を再整理する等ガイドラインを見直し  
 (「長期的な視点に立った取組が必要」、「限られた人員や資材では限界がある」、「自分のまちは自分で守る」という意識が重要)など)

ガイドラインの基本的な方針と施策(案)

方針(案)	施策(案)
命を守るために対応する	
(1)津波、避難対策により命を守る	(1-1)住民の自発的な避難を促す
(2)土砂災害から命を守る	(1-2)津波避難場所・避難の確保
(3)集落・地域の孤立に備える	(2-1)避難場所の高さと対策
	(3-1)集落・地域の孤立に備える
生命の損失を見直す	
(4)災害に強いまちの復元を創る	(4-1)多層防衛のまちづくり
(5)住宅、避難物等の被害から命を守る	(5-1)住宅等の耐震化
(6)住宅、避難物の火災から命を守る	(6-1)火災に強いまちの形成
災害に負けない人・地域をつくる	
(7)地域防災力の向上	(7-1)人的防災力の向上
	(7-2)防災体制の強化
(8)災害発生時の行政機能の維持・発揮	(8-1)災害に強い庁舎づくり
	(8-2)地方公共団体の防災力の向上
	(8-3)有事を見据えた体制づくり

それから、これは中山間地域での、風倒木対策として、こんな砂防事業を使ったものを行っています。ここに示しましたように、色んなところで防災と街づくりというような



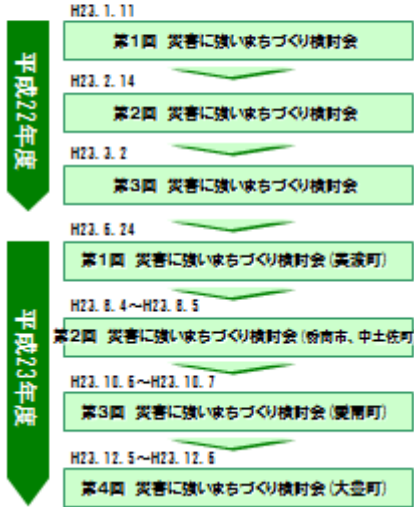
観点で事業が展開されています。また、ここに示したものの以外にソフト対応が沢山入ってくるはずなのですが、ハードを中心としてお話しさせていただきました。

災害に強いまちづくり検討会



○検討にあたり、「災害に強いまちづくり検討会」を設置（H23.1～、7回開催）  
平成23年度検討は、地域モデルの5市町にて開催し、現地の状況を詳細に把握

◆検討会の開催経緯



◆検討会委員名簿

愛媛大学 柏谷名堂教授【座長】
香南市 仙頭市長
美濃町 影治町長
愛南町 清水町長
大豊町 岩崎町長
中土佐町 池田町長
徳島大学大学院 ソシオテクノサイエンス研究部 奥嶋准教授
徳島大学大学院 ソシオテクノサイエンス研究部 森辺助教
香川大学工学部 安全システム工学科 野々村准教授
愛媛大学総合情報メディアセンター・防災情報研究センター 二神准教授
高知大学南海地震防災支援センター 原准教授
徳島県 政策監補
香川県 土木部部長
愛媛県 土木部部長
高知県 土木部部長
国土交通省 四国地方整備局長
国土交通省 四国地方整備局 企画部長
国土交通省 四国地方整備局 建設部長

【参考3】 地域条件による災害に強いまちづくり

○各地方公共団体が、地域課題や方策をより具体的にイメージできる参考となるよう、4つの地域条件ごとのイメージ図にて留意すべき事項を整理

【4つの地域条件】

地域条件	① 海岸平野部	② 山地が迫る沿岸部	③ 半島・島しょ部	④ 中山間地域
イメージ(地域モデル)	香南市(吉川地区)	美濃町(日和地区) 中土佐町(久礼地区)	愛南町(由良中央)	大豊町

(例) 海岸平野部

各表の概要:

- 表1 (海岸平野部):** 防災の基本的な役割を担す。河川等による集約の向上への取組。土地利用のルール明確化。
- 表2 (山地が迫る沿岸部):** 防災避難場所・避難の確保。人口密集地では、避難入口に対応し、避難に混乱が生じないような避難経路の確保。特定の避難経路、避難場所への避難者の集中が懸念され、対応策の必要性。
- 表3 (半島・島しょ部):** 防災避難場所・避難の確保。防災避難ルートの確保。人口密集地では、避難入口に対応し、避難に混乱が生じないような避難経路の確保。特定の避難経路、避難場所への避難者の集中が懸念され、対応策の必要性。
- 表4 (中山間地域):** 防災避難場所・避難の確保。防災避難ルートの確保。人口密集地では、避難入口に対応し、避難に混乱が生じないような避難経路の確保。特定の避難経路、避難場所への避難者の集中が懸念され、対応策の必要性。

**「自立する四国」の持続的発展に向けて必要な取り組み**

1. 【地域の安全・安心の確立】
  - ①東南海・南海地震、集中豪雨等の大規模災害に強い地域づくりを進める。
2. 【地域の活力の向上】
  - ①高速道路ネットワークの整備や、港湾・空港のゲートウェイ機能の強化により、国際競争力や地域間競争力を高める。
  - ②道路・港湾・空港等の整備、水資源の確保により、産業活動・企業立地に対する魅力的な環境整備を進める。
3. 【地域の魅力の創造】
  - ①歴史・文化を活かした新たな魅力の創造、美しい自然を保全・活用する地域づくりを進める。
  - ②中山間地域の農山漁村において、快適で安全な生活基盤の整備を進める。
  - ③市街地再開発等による中心市街地の再生を進める。

以上に示しましたように、色んなところで色んな知恵を出しながら、少しずつ動いていっていますので、また、こういうことをやりたいとか言っていただければ、お話を伺って一緒に考えていくようなことを行います。そのために皆様方のご協力ないしは色んなセッションをいただければと思います。どうぞよろしく申し上げます。ちょっと長くなってしまって誠に申し訳ございませんが、私の発表を終わりにさせていただきます。どうも有り難うございました。